会 議 録

会 議 名	令和 6 年度第 1 回野田市公共下水道運営審議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 会長の選出について（議案第 1 号）（公開） 2 副会長の選出について（議案第 2 号）（公開） 3 野田市公共下水道事業の概要及び整備状況について（報告）（公開） 4 野田市公共下水道事業財政状況について（報告）（公開） 5 野田市下水道事業経営戦略の事業評価について（報告）（公開）
日 時	令和 6 年 1 0 月 1 8 日（金） 午後 2 時から午後 3 時 4 0 分まで
場 所	野田市役所高層棟 8 階 大会議室
出席委員氏名	斎藤博，竹村圭介，小池聖彦，福田正，五百川和家 恵，石原和子，山川里沙，田口さゆり，伊藤正明，小 島勉
欠席委員氏名	廣田有里，新玲子，岡田武治，本田正則
事 務 局	鈴木有（市長），飯塚等（土木部長），荒井哲也（下 水道課長），勝田等（下水道課長補佐），佐野真次（ 主幹兼下水道課経営係長），浅野学（下水道課管理係 長）小林正和（下水道課工務係長），濱野明子（下水 道課業務係長），渡辺奈穂子（下水道課主任主事）， 石山完司（下水道課主任主事），湯沢和寿（下水道課 主任主事），浅海恵莉（下水道課主事），天羽弘樹（ 下水道課主事補）
傍 聴 者	有り（2 名）

議 事	<p>令和6年度第1回野田市公共下水道運営審議会の議事は、次のとおりである。</p> <p>開会</p>
下水道課長補佐	<p>令和6年10月18日午後2時00分、開会を宣言し、委員10名が出席しており会議が成立していることを報告した。会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。会議録の作成のため録音機を使用することについて了解を得た。</p>
市 長	<p>挨拶</p> <p>本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>また、日頃から皆様方には市政運営全般にわたりまして、御支援、御協力を頂きますことを厚くお礼申し上げます。</p> <p>本日はこの審議会任期最初の審議会ということでございます。引き続き委員の方、また新たに委員になられた方もいらっしゃると思いますが、当審議会の委員として御就任いただきますことに感謝申し上げます。</p> <p>さて、この下水道につきましては、令和2年度から下水道事業会計として公益企業会計に移行しました。</p> <p>このことにより、財務諸表により経営状況を把握し、分析することで引き続き下水道事業の経営の健全化を進めるとともに、汚水の整備などを推進してまいりたいと考えております。</p> <p>本日の会議としては議案として、審議会会長及び副会長の選出、その後下水道事業の概要及び整備状況について下水道事業財政状況について、及び新しい下水道事業経営戦略事業評価についての3件の報告事項がございます、委員の皆様には、忌憚のない御意見を頂きますようお願いいたします。</p> <p>今後とも下水道事業につきまして、また御激励賜りますことをお願い申し上げまして挨拶とさせていただきます。</p>

		きます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。
下 水 道 課 長 補 佐		〈委員の紹介をした。〉
		議事進行は、野田市公共下水道運営審議会条例第5条第1項の規定により、本審議会の会長となるが委員改選後初めての会議であることから、会長不在のため、慣例に従い市長に仮議長として会長が選任されるまで議事進行をお願いする
		(市長 議事進行)
市 長		議案第1号会長の選任について議題といたします。 事務局より説明願ひます
下 水 道 課 長		野田市公共下水道運営審議会条例第4条第2項に会長は互選により選任すると定められておりますので、規定に基づき会長の選任をお願いしたいと思ひます、
市 長		会長の選出方法について伺う。
竹 村 委 員		指名推選でいかがでしょうか
市 長		指名推選についての採決
委 員 一 同		(異議なし)
市 長		御異議ないようですので選出方法につきましては、指名推選とさせていただきます。 それではどなたか御推選いただけますか。
福 田 委 員		はい。斎藤委員にお願いしてはいかがでしょうか。
市 長		ただ今、斎藤委員にという推選が上がりましたが、ほかにございますか。 ないようなので、審議会会長に斎藤委員を選任することで御異議ございませんか

<p>市</p> <p>長</p>	<p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>御異議がないようですので、斎藤委員に会長をお願いすることとなります。</p> <p>それでは会長は選任されましたので、この後の議事進行につきましては会長をお願いしたいと思います。</p> <p>ここで仮議長を解かせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(市長自席へ移動)</p> <p>(斎藤委員 会長席へ移動)</p>
<p>会</p> <p>長</p>	<p>会長挨拶</p> <p>ただ今会長に選任いただきました斎藤でございます。</p> <p>お手元に審議会の条例を配布してございますけれど、審議会の目的は市長の諮問により野田市の暮らしの公共下水道に対する使用料及び受益者負担金に関する事項について御審議を頂くということになっております。</p> <p>なお、下水道事業そのものは都市基盤整備事業でありまた、公共水域の保全という環境推進事業の位置づけでございます。</p> <p>消費者に対しては公平である使用料、受益者負担金といったものを審議していただくこととなります。</p> <p>また、諮問が提出されたときには、皆さんの御協力を頂きまして審議をしていただきたいと思いますので、今後とも皆様の御協力を是非お願いしたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それではここから議事進行ということで進めさせていただきます。</p> <p>議案第2号、副会長選任について事務局説明を求めます。</p>

下水道課長	会長選出と同様に野田市公共下水道運営審議会条例第4条第2項に副会長は委員の互選により選任すると定められておりますので規定に基づき副会長の選出をお願いしたいと思います。
会長	事務局の説明で、委員の互選ということですがいかがいたしましょうか
石原委員	会長選出と同じく、指名推選でよろしいかと思ます。
会長	はい。ありがとうございます。 指名推選という御意見がございました。委員の皆様いかがでしょうか。
委員一同	異議なし。
会長	異議なしということで指名推選といたします。 どなたか推選をお願いいたします。
石原委員	今年度新しく審議会委員に就かれた山川委員に副会長をお願いしてはいかがでしょうか
斎藤会長	ただ今、山川委員をお願いしたいという御意見がありました。 それでは本審議会の副会長に山川委員を選任することで御異議ございませんか。
委員一同	異議なし
斎藤会長	よろしいでしょうか。それでは御異議ございませんので山川委員が副会長に選任されました。 (山川委員副会長席へ移動) それでは山川副会長から就任の御挨拶をお願いしたいと思います。

山 川 副 会 長	<p>初めまして。山川と申します。</p> <p>初めてのことなので、よくわかりませんが、精一杯やらせていただきます。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>
齋 藤 会 長	<p>ありがとうございました。</p>
下 水 道 課 長 補 佐	<p>説明の前に申し訳ございませんが市長はこの後公務がございしますので、ここで退席させていただきます。</p> <p>(市長退席)</p>
齋 藤 会 長	<p>それでは次に続きます。</p> <p>報告第1号 野田市公共下水道事業の概要及び整備状況について事務局に説明を求めます。</p> <p>お願いします。</p>
工 務 係 長	<p>報告第1号説明</p>
齋 藤 会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの事務局の説明について、委員の方から御質問、御意見等がございましたらお願いします。</p>
小 島 委 員	<p>はい。</p> <p>2ページ目に行政人口と全体計画区域内人口がありますが、差が2万2千人あります。計画ではこの2万2千人の方は、下水道の恩恵を受けることができない地域と解釈するのですが</p> <p>野田市は比較的平坦なところで整備がしやすいのではないかと考えております。</p> <p>この2万2千人の方が、計画から除外されているという計画の説明をお願いします。</p>
下 水 道 課 長	<p>はい。</p> <p>下水道を整備するところと、そうでない区域というのが計画上定められております。</p>

<p>小 島 委 員</p>	<p>江戸川左岸流域という下水道事業で成り立っている地域でありまして、野田市に限らず、流山・松戸といった関連市も同じように下水道を整備するものとそうでないところと区分けがされています。</p> <p>千葉県全域の全区域汚水処理構想がございまして、その中で野田市は公共下水道整備するところと、そうでないところについては、合併処理浄化槽で整備するところと色分けされています。</p> <p>公共下水道で整備するということが定められたのが132, 100人となっております。</p> <p>公共下水道というのは一般的には市街化区域にお住まいの方が公共下水道の恩恵を受けられるとなっております。それ以外の方たちは、合併処理浄化槽、若しくは単独処理浄化槽や汲み取りの方がいらっしゃる状況です。</p> <p>色分けがされている中でも、132, 100人の全員を今整備できるかと言いますと、先ほど述べた通り、72.3%しか整備されておられませんので、先ずはその部分の整備を行っていかうと思っております。</p> <p>目標年次を令和6年度としてありますが、まだ整備されていない区域もあるので大体5年から7年の計画期間の延長を千葉県と調整しております。</p> <p>先ほど下水道の恩恵が受けられないというような話がありましたが、合併処理浄化槽の部分につきましては、市と国・県の補助金制度を利用して、合併処理浄化槽を整備していただく事業も下水道課で実施しております。</p> <p>公共下水道と合併処理浄化槽それぞれの整備をしまして、汚水を適正に処理していただく取組をしております</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続いて質問をさせていただきます。</p> <p>合併処理浄化槽ですと公共下水道の範疇ではないですよ</p> <p>合併処理浄化槽の普及がどの程度進んでいるのか</p> <p>公共下水道以外に合併処理浄化槽でも良いという法律</p>
----------------	--

<p>下 水 道 課 長</p>	<p>的だとか根拠があるのか伺いたい。</p> <p>合併処理浄化槽の人数の数字を持ち合わせておりませんが、世帯でいいますと、約8千世帯が合併処理浄化槽への転換が必要な世帯が残っております。</p> <p>野田市では転換の促進をお願いしている状況です。</p> <p>費用等がかかりますので、人槽によって金額は変わりますが、80万から120万円の補助金を交付し、合併処理浄化槽への交換をお願いしております。</p> <p>排水基準というものが定められており、公共用水域に負担がかからない水質で放流していただくことを、千葉県が指導等を行っております。</p>
<p>会 長</p>	<p>他にございますか。</p> <p>私の方から要望ということでお願いしたいと思えます。</p> <p>先般、東京で管内に急激な圧力がかかり、マンホールが浮き上がったということもございました。</p> <p>それから、ほかの自治体でも下水道管が老朽化し道路が陥没したという事故も発生しております。</p> <p>先ほどの説明の中で、人孔の耐震化については随時、補修等行っていくと思えます。</p> <p>最近、地震もおおいような傾向でございますので、確か中野台鹿島町付近は1980年ごろ、私が下水道課にいる頃、管渠の工事が始まりました。</p> <p>もう既に40年を経過しておりますので、管渠、污水管についても、随時点検なされて事故等が発生しないよう、十分をお願いいたします。</p>
<p>下 水 道 課 長</p>	<p>はい。</p> <p>実際50年経過していなくても、おっしゃったとおり40年以上は経過しております。</p> <p>実際、山縣医院のある堤台付近で、下水道管の中で硫化水素が発生し、マンホール蓋の腐食が進行していた状況がございました。</p> <p>市民の方からの一報で、普段と違う臭いがするという</p>

<p>会 長</p> <p>経 営 係 長</p>	<p>お話を頂き、現地を確認したところ、マンホールの蓋が腐食しており穴が開いていることが確認され、蓋の交換を行いました。</p> <p>日々市民の方からの情報を得ながら、維持管理をしていかななくてはならないと把握しております。</p> <p>今、野田市にある下水道課が管理しているマンホールが1万8千基あります。状況により、耐用年数の違いがございますが、我々も点検等を行って、半数は何かしらの対応をしていかななくてはならないと思っております。</p> <p>また、管渠の方も老朽化が非常に著しいのが岩名地区と、旧電建住宅、しらさぎ、野田梅郷住宅の管渠が、昔の鉄筋コンクリートの管になっており、硫化水素による腐敗がある状況で、重要な施設についてはすべて中にテレビカメラを入れて、目視して管渠がどうなっているか確認して、必要な箇所については予算の範囲ですが、維持管理をしている状況です。</p> <p>事故が発生しない方がいいのですが、我々の体制としましては、24時間体制をとっております。</p> <p>下水道に限らず、道路とかインフラ関係とかに不具合が生じたときには、夜中でも対応できるような体制をとって安全対策を行っていき、必要なところについては、予算の中で修繕等を行っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどお話しした東京都の状況は、合流式であり分流式の野田市では、このような状況がないかと思ひますが、先ほど言われたマンホールの点検や汚水管の点検等を十分にお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは他にございませんので次に移りたいと思ひます。</p> <p>報告第2号「野田市公共下水道事業の財政状況について」事務局の方から説明をお願ひいたします。</p> <p>報告第2号説明</p>
---------------------------	---

<p>会 長</p>	<p>ただいまの説明について、御質問等ございますか。</p>
<p>小 島 委 員</p>	<p>資料の9ページ目その1 令和5年度決算の下水道使用料がありますが 予算額が15.7億、決算額が14.9億 決算で 8,600万少なく、私としては、野田市の上下水道 使用料が5%減ってしまっているから大変なことだ と思いました。 資料を進んでみると、11ページに有収水量及び下 水道使用料収入とありますがここでは決して減ってはい ないとなっており、少し明確に説明をお願いしたいと 思っております。</p>
<p>経 営 係 長</p>	<p>9ページでは、予算額に対して結果減っていると表 記させていただいていますが、11ページの表につ きましては、各年度の決算の数字となっており、消費 税抜きの金額となっております。 決算書は一般会計と同じ税込みの表記となっており、 9ページには決算書の数字として、消費税込みの金額 となっております。</p>
<p>小 島 委 員</p>	<p>数字の説明はわかりました。 9ページの予算額と決算額で5パーセントの かい離の理由を教えてください。</p>
<p>経 営 係 長</p>	<p>新規接続の方が増えていることや、実際、上水道 だけでなく井戸を利用されている方も排水されて いるため、一致しないところもございます。 ただ、予算編成時にはコロナ禍もあり、排水が 増えるのではないかと、当時は見込んでお りましたが、そこまで増えなかった結果とな りました。</p>
<p>会 長</p>	<p>他にございますか。 それでは次の「報告第3号 野田市下水道事業 経営戦略の事業評価について」この説明をお 願いいたします。</p>

<p>経 営 係 長</p>	<p>報告第3号説明</p>
<p>会 長</p>	<p>ただいまの説明について、御質問等ございますか。</p>
<p>竹 村 委 員</p>	<p>13ページの2(1)の進捗の数値の動きですが、毎年着実に進捗しているにはいいのですが、このペースで増えていく数値を予測しますと、12年度の38.7という数値には、かなり厳しいのではないかと考えられます。その評価のところには事業費ベースでの進捗率は問題なく向上しましたと書かれていますが、この問題なくの表現が正しいか、問題なくの表現は削除した方がいいのではないかと思います。</p> <p>同じことが14ページの(2)の数値でもやはり順調に増えてはいますが、12年度の100という数値にはこのペースですと届かないと思われるので、評価の問題なくという表現は削除した方がよいかと思われます。</p>
<p>下 水 道 課 長</p>	<p>今の御指摘のありました内容につきましては、持ち帰り検討させていただきたいと思っております。</p> <p>1つ説明をさせていただきます。</p> <p>浸水に対する備えというところですが、昨年度の10月にこちらの審議会を行ったときに、阿部沼調整池関連の事業については、大規模雨水処理施設整備事業ということで御説明させていただいたことがございます。</p> <p>内容は、本事業地区にある阿部沼落堀というところが浸水常襲箇所となっております。その浸水解消するために、国から補助金を頂いて整備していくという整備内容となっております。これについては、昨年度整備計画書を国土交通省に提出し、今年度4月からその整備計画に基づいた資金計画で工事を実施していく運びとなりました。実際、整備には令和28年度ぐらいまでかかってしまっていますが、いままでその補助金は社会資本整備総合交付金という補助金でしたが、この大規模な処理施設の補助金を申請すると、野田市の使い</p>

	<p>たい金額がほぼ賄えて整備ができる状況となり、それに基づき、令和12年の38.7%は目標達成できるのではないかと考えております。</p> <p>実際過年度の令和2年から令和5年度の数字を見たときに、進捗率が低いと思われませんが、これから10年度までは改善されるのではないかと考えております。</p> <p>14ページの地震に対する備えの令和10年の100%につきましては、達成するのが難しいと感じております。地震に対する関心も高くなっており、全国規模で地震対策を行っていかなくてはならないのですが、財源が限られている市町村に対し、国も対応を考えている状況です。</p> <p>その中で、民間の活力を活用し、PPP・PFIを使った手法も考えていくという、機運が高くなってきております。</p> <p>野田市でもどう活用し、行っていくか検討している段階です。</p> <p>近隣ですと、柏市が先行して事例として行っており、千葉市とも横の連携をしながら勉強しております。</p> <p>静岡県浜松市においても先行事例がありますので、千葉県下水道協議会の方で視察に出向いて勉強したいと考えております。</p> <p>その中で、地震に対する備えの部分についても、今後の整備が100%にならないにしても、現実的な数字、見据えた計画を立てていきたいと考えております。</p> <p>経営戦略につきましても、見直しを考えております。令和8年度の4月を目標に見直しを検討している最中で、御指摘の内容を検証も含め検討していきたいと考えております。</p> <p>結果がわかりましたら御報告させていただきます。よろしく願いいたします。</p>
齋藤会長	他にございますか。
小島委員	13ページの公共下水道の普及率はわかったのですが、2安全安心の浸水に対する備えの部分で雨水排除

<p>下水道課長</p>	<p>の進捗率の経緯をお願いします。 令和12年度の経営戦略最終年度で目標が38.7%では、100%はどういう状況をいうのかを教えてください。</p> <p>雨水事業というのは目的とすべき施設が、全部できれば100になるのですが、それまでは効果が出ていないのでゼロになってしまいます。進捗の表現が難しく、事業費ベースの指標で、例えば100億掛かる事業に対し50億かかったら50%という指標で考えて、38.7%と設定させていただきました。</p> <p>汚水の方は初めから、全体としてこの区域を設定し整備していく形ですが、雨水は、ポイント、ポイントで浸水箇所を整備していくため、面積で比較することができません。雨水につきましては、整備が何パーセント進んでいったのか、年度ごとに事業費ベースで表している状況でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>他にございますか。 ないようでしたら報告第3号は終了とさせていただきます。 本日の議題はすべて終了しましたので、会議を終了いたします。 事務局の方で何かありますか。</p>
<p>下水道課長</p>	<p>次回運営審議会は、令和7年2月14日金曜日を予定しております。 時間と場所につきましては、直近になりましたら別途お知らせをさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>(閉会宣言)</p>